

# ソーシャルワーク基礎実習

[実習] 第2学年 通年 必修 1単位

《担当者名》 近藤 尚也 n-kondo@hoku-iryo-u.ac.jp 巻 康弘 奥田 かおり 中田 雅美 松本 望 片山 寛信 ( 主担当者、○副担当者 )

## 【概要】

ソーシャルワークの概要を理解するために、8月に社会福祉施設・病院等において5日間（40時間）のソーシャルワーク基礎実習を体験する。

## 【学修目標】

- 1 福祉サービスを必要としている方のニーズを知る。
- 2 福祉や医療の実践現場で働くソーシャルワーカーの業務内容を説明できる。
- 3 ソーシャルワーカーに必要な力や魅力を説明できる。
- 4 社会で必要とされる態度やマナーを果たすことができる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1日目	配属実習	実習先施設・機関の利用者、専門職、支援内容などの理解	巻、奥田、中田、松本、片山、近藤
2日目	配属実習	実習先施設・機関の利用者、専門職、支援内容などの理解	巻、奥田、中田、松本、片山、近藤
3日目	配属実習	実習先施設・機関の利用者、専門職、支援内容などの理解	巻、奥田、中田、松本、片山、近藤
4日目	配属実習	実習先施設・機関の利用者、専門職、支援内容などの理解	巻、奥田、中田、松本、片山、近藤
5日目	配属実習	実習先施設・機関の利用者、専門職、支援内容などの理解 まとめ	巻、奥田、中田、松本、片山、近藤

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

実習施設・機関からの評価、実習日誌、自己評価票等を総合的に勘案して100%評価を行う

## 【教科書】

なし

## 【参考書】

必要に応じ提示する。

## 【備考】

本科目とソーシャルワーク基礎実習指導は重要な連動があるため、単位認定も原則連動することとなる。

## 【学修の準備】

ソーシャルワーク基礎実習指導での指導内容を踏まえて事前準備を行う。

事前訪問において実習前に行うべき事前学習について実習指導者に伺い事前学習を行う。

## 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2.3

## 【実務経験】

巻 康弘（社会福祉士）奥田 かおり（ソーシャルワーカー）中田 雅美（社会福祉士）松本 望（社会福祉士）片山 寛信（社会福祉士）近藤 尚也（社会福祉士）

## 【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉士、ソーシャルワーカーとしての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。